

## 国際医療福祉大学の医学部に係わる 文部科学大臣の認可について

学校法人国際医療福祉大学の医学部新設について、本日8月31日、文部科学大臣から設置の認可を受けました。今後、学生受け入れの準備を進め、これまでにない世界水準の医学教育を行うことをめざし、来年4月、国際的に広く開かれた新しい医学部を開学いたします。

### ■国際医療福祉大学 医学部・医学科について

- 入学定員 140名（うち20名は留学生） 収容定員 840人
- 所在地 〒286-0048 千葉県成田市公津の杜4丁目2 成田キャンパス
- 校舎竣工予定 6階建：2017年2月28日 / 11階建：2017年12月末  
敷地面積：14,827 m<sup>2</sup> / 建築面積：5,518 m<sup>2</sup> / 延床面積：47,107 m<sup>2</sup>



### ■医学部の特長

#### ① これまでにない世界水準の医学教育

- 国際標準を上回る医学教育を通じて高い総合診療能力を身につけた医療人材を養成。
- 診療参加型臨床実習を90週実施。
- 6年次に全学生が4週間以上の海外臨床実習に参加。
- カリキュラム編成や評価などを行う「医学教育統括センター」は専任教員25名という世界的にも類のない構成。

#### ② 徹底した英語教育の実施と海外経験豊富な教員の採用

- 医学に関する大多数の科目で英語による授業を実施し、1年次から徹底した英語教育を実施。
- 教員は国際的に活躍する各分野の第一人者や、海外での臨床・教育経験の豊富な人材を揃え、国際医療拠点にふさわしい外国人教員も多数採用。

### ③140名定員のうち20名は留学生

- 定員140名のうち20名は東南アジアを中心とした留学生を受け入れ。学生の7人に1人が留学生という国際的な学習環境。留学生の寮も整備して生活面のサポートをしながら英語と日本語の両方で教育を行い、将来母国のリーダーとなりうる人材を育成。
- ベトナム保健省・ハノイ大学・ホーチミン市医科薬科大学と、医学部特別奨学金制度に関するMOU（基本合意書）を締結。

### ④国際的に開かれた新しい医学部

- 世界16の国／地域で約30の大学・機関・病院と協定を締結。うち12の機関で、必須である海外での臨床実習や国際交流などで活用。



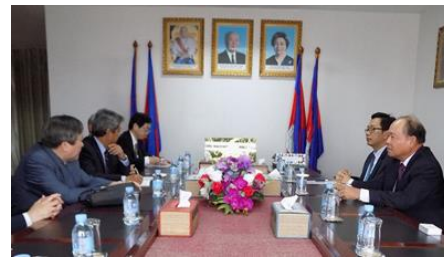
モンゴル国立医科大学との学術交流協定締結  
(2015年7月)



ミャンマー保健省との協定締結  
(2016年2月)



ベトナム・ハノイ医科大学  
ホーチミン市医科薬科大学との協定締結  
(2016年5月)



カンボジア保健科学大学との学術交流協定締結  
(2016年8月)

- 協定先の1つであるベトナム・チョーライ病院では、国際医療福祉大学による人間ドック健診センター開設プロジェクトを推進。
- 協定先の1つであるミャンマーでは、国際医療福祉大学がリハビリテーションおよび先進的医療分野に対する医療協力を推進。  
【ヤンゴン国立リハビリテーション病院の建替えに関する協力、IUHW（国際医療福祉大学）研修センターの開設、作業療法・言語聴覚分野における教育システムの構築 など】

### ⑤豊富な施設・設備を生かし、充実した実践教育、臨床実習を実施

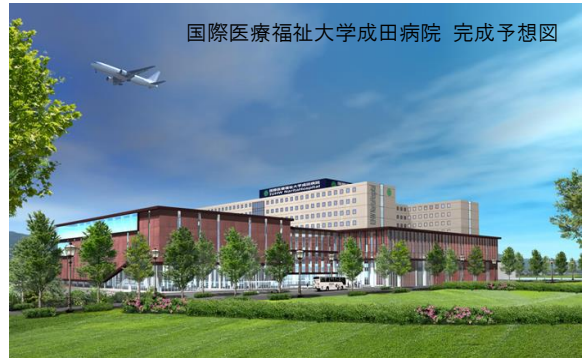
- 5000㎡を超える世界最大級の「医学教育シミュレーションセンター」をキャンパス内に設置。
- 4つの附属病院と臨床医学研究センターという位置づけのグループ関連病院・施設を活用し充実した臨床実習を実施。

### ⑥国内外で羽ばたく学生に広く開かれた門戸

- 学費は私立大学医学部で最も安い6年間で1,850万円を設定。
- 医学部特待奨学生制度や教育ローンなど手厚い学費サポート制度を用意。
- 国際医療・保健に貢献する人材育成や情報集積の拠点となる「公衆衛生大学院」を開設予定。

### ⑦2020年に国際医療福祉大学成田病院を新設予定

- 成田市畑ヶ田地区に640床規模の医学部附属病院「国際医療福祉大学成田病院」を新設。
- 「国際遠隔画像診断センター」や「感染症国際研究センター」「国際医療機器の国際研修センター」などを設置するほか、10カ国語に対応できるスタッフの配置、ハラル食など各国の食事の対応、宗教関連施設を設置するなど世界的なハブ病院をめざす。



### ■医学部新設の経緯

本学では新しい医学教育の実現をめざし、2007年に黒川清先生（元日本学術会議会長）を初代委員長として、本学の教員や外部有識者をメンバーとする「新医学教育制度に関する検討会」を設け、新しい医学教育制度を検討してまいりました。その後、医学部新設の構想をより具体化するため、2010年に当時の本学大学院長・故開原成允先生、故金澤一郎名誉大学院長を中心に医学部設置準備委員会を発足し、世界各国の医科大学を多数視察しながら、必要とされている医学部についての議論を重ねてまいりました。2013年9月には医科系大学の誘致をめざす成田市と共同で政府に「国際医療学園都市構想」を提案し、2015年11月に政府による国家戦略特別区域諮問会議で本学の医学部設置計画が認められました。

本年3月末に文科省へ設置認可を申請していたところ、8月26日に大学設置・学校法人審議会から文部科学大臣に対し認可を「可」とする旨の答申がなされ、文部科学大臣から8月31日、設置の認可を受けました。

### 国際医療福祉大学

「『共に生きる社会』の実現」を建学の精神として、1995年に栃木県大田原市にわが国初の医療福祉大学の総合大学として開学。現在、栃木県大田原市、千葉県成田市、神奈川県小田原市、福岡県福岡市、福岡県大川市の5キャンパスに8学部21学科（医学部新設以降は9学部22学科）を持ち、大学院生を含め約7,500人の学生が学んでいます。これまで約19,000人を超える卒業生を輩出し、国家試験の合格率や就職率の高さでも日本屈指の実績を挙げてまいりました。

グループには4つの附属病院（国際医療福祉大学病院：栃木県那須塩原市、国際医療福祉大学塩谷病院：栃木県矢板市、国際医療福祉大学三田病院：東京都港区、国際医療福祉大学熱海病院：静岡県熱海市）をはじめ、東京都港区の山王病院・山王メディカルセンター、千葉県市川市の化学療法研究所附属病院など、全国に約30の関連医療福祉施設があります。